

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

平成 30 年度病害虫発生予察注意報第 3 号を公表したので送付します。

平成 30 年度病害虫発生予察注意報第 3 号

- 1 作物名 水稻
- 2 害虫名 スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)
- 3 発生地域 八重山群島

4 注意報発令の根拠

- (1) 石垣島における 6 月中旬の調査の結果、一期作水田における本種の発生ほ場率は 50.0% で、貝数は 1m^2 あたり 0.4 頭 (平年 0.1 頭) と平年より多かった (図 1)。
- (2) 石垣島における 8 月中旬の調査の結果、二期作水田における本種の発生ほ場率は 93.8% (前年 62.5%) で、貝数は 1m^2 あたり 3.0 頭 (前年 0.1 頭、平年 0.3 頭) と平年より多かった (図 2)。
- (3) 病害虫防除員からの報告によると、西表島の二期作水田の一部で、スクミリンゴガイの発生が確認された。

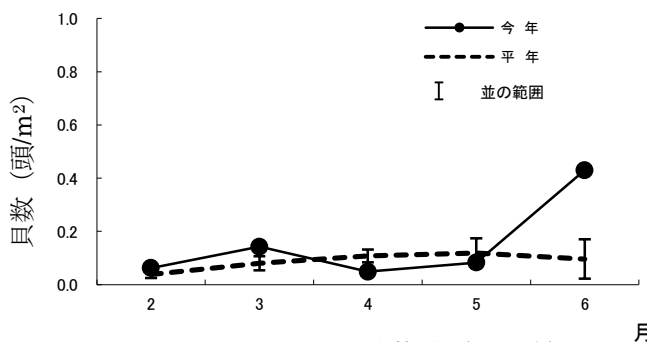


図 1 スクミリンゴガイの発生推移 (一期作)

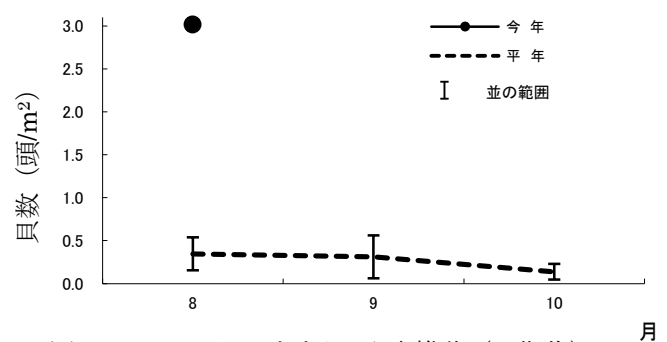


図 2 スクミリンゴガイの発生推移 (二期作)

5 発生生態および被害

- (1) 本種は南米原産のリンゴガイ科の大型淡水巻貝で、1980 年代に台湾などから食用として導入されたものが野生化した。国内では関東以南に分布し、九州・沖縄地域で被害が大きい。水稻では移植後 2～3 週間までの若苗を食害し、多発すると欠株や生育障害をもたらす (図 3、4)。
- (2) 成貝は最大で殻高 8 cm ほどになり、寿命は 2～3 年程度と見られる。殻色は黄褐色～黒色、螺層は 5 層右巻きで、殻口は大きく角質の蓋を備える (図 5)。周年活動するが、3 月頃から摂食や交尾が活発になり、夏季に盛んに繁殖する。
- (3) 摂食活動は水中で行われ、深水田で被害が多い。落水後は土中に潜って活動を停止し、湛水すると活動を再開する。乾燥条件下では口蓋を閉じて代謝を下げ、無水でも半年以上生存できる。
- (4) 母貝は夜間、水辺の植物や用水路等のコンクリート壁面に登り、直径 2～4 mm の鮮紅色の卵を数十～数百個の卵塊状に産卵する (図 6)。産卵は 3～4 日間隔で行われ、好適な環境では約 10 日でふ化し、2 ヶ月程度で成熟する。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 貝及び卵塊は見つけ次第除去するか、水中に落とす。人体に有害なセンチュウが寄生している場合があるので、捕殺する際にはゴム手袋を着用する。
- (2) 取水口に侵入防止網等（目合5～10mm程度）を設置し、用排水路からの侵入を防ぐ（図7）。
- (3) 本田での食害が集中する移植後2～3週間は1cm以下の浅水管理に努め、本種の活動を抑えるとともに、メタアルデヒド粒剤などの薬剤を施用する。
- (4) 畦畔及び用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所を作らない（図8）。
- (5) 収穫後は通常より浅く、遅い速度で丁寧に耕耘し、成貝を破碎する。



図3 食害による水田の欠株



図4 イネ株元に寄生する幼貝

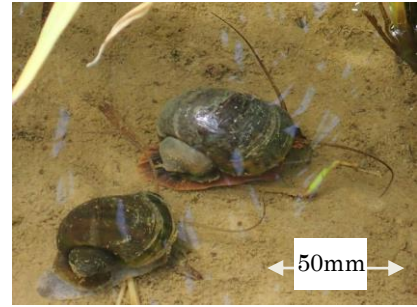


図5 成貝



図6 卵塊



図7 取水口の侵入防止網



図8 畦畔雑草上の卵塊

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933
ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>